

見えてきました、

未来の米づくし。

イネファイト



MAYEKAWA

製品一覧



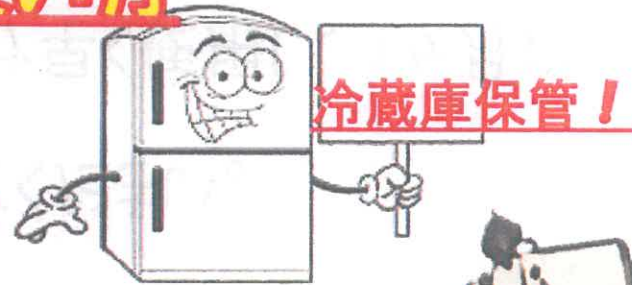
- 通常版イネファイター(小) 50mL 10a用
- 通常版イネファイター(大) 500mL 1ha用
- 有機版イネファイター(小) 50mL 10a用
- 有機版イネファイター(大) 500mL 1ha用

※(社)有機JAS資材評価協議会による。

～イネファイター～

その使い方

1. お手元に届いたら
なるべく早く使い切ること！
保管するときは冷蔵庫で！



2. 水で薄めて使います
水道水で薄めるときは…
前日に汲み置きして**塩素抜きを！**



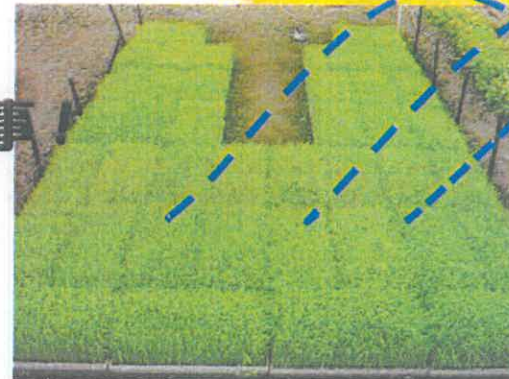
3. **育苗箱**に散布します
散布の時期は…
定植の**2日から10日前に！**

10aの目安 (1反歩)	成苗	25リットル
	中苗	15リットル
	稚苗	10リットル
	乳苗	7.5リットル

4. 使用期限
製造日から**1ヶ月以内**に使用の事



製造年月日
…130401…
2013年4月1日です



使用方法

- イネファイターを水でうすめ、**移植前数日から1週間程度**のイネ育苗箱に散布します。

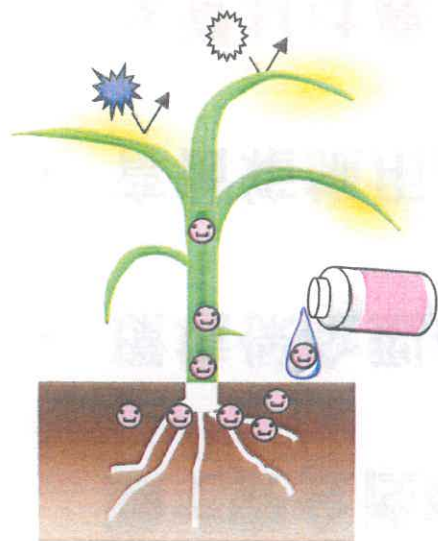
	1ha箱数目安	使用方法
成苗(ポット・マット)	500~600箱	資材500mLを250Lの水でうすめて1ha分の育苗箱に散布してください(500倍)
中苗(箱マット・型枠苗)	200~400箱	資材500mLを150Lの水でうすめて1ha分の育苗箱に散布してください(300倍)
稚苗(箱マット)	~200箱	資材500mLを100Lの水でうすめて1ha分の育苗箱に散布してください(200倍)
乳苗(箱マット)	~150箱	資材500mLを75Lの水でうすめて1ha分の育苗箱に散布してください((150倍))

保管上の注意

- **10℃以下の冷蔵庫**で保管してください。
- お手元に届いてから出来るだけ早く使用し、1ヶ月以内にお使いください。

イネファイターとは？

植物体内共生微生物で、**エンドファイト**の一種です。



イネが本来持っている**免疫機能を高め**、**活着を良くし**、**元気なイネに育てます**。

分蘖が促進されお米の増収が期待されます。

天然由来の共生細菌なので**環境にやさしく安全**です。

主な特徴

- イネから発見された**自然の細菌**(菌種: Azospirillum sp.)です。
- 淡水魚・淡水藻類・標的外昆虫および他への作物の影響試験で**安全性を確認済**です。※(財)食品農医薬品安全性評価センターによる。
- 環境保全型農業に適合した**安全・安心**な資材です。
- 育苗箱施用農薬と併用して使用することが可能です。
- **本資材は農薬ではありません。**

使用上の注意

- 本剤の有効成分は生菌ですので、開封後はすべて使い切ってください。
(本品はセキュリティシールで封印されて出荷されます。)
- 保管中に微生物が沈殿することがありますので、よく振ってからお使いください。
- 「水道水」を使用して薄める場合は、前日までに汲み置きして「塩素」を除去してからご使用ください。
- 散布した当日は可能な限りは葉面への灌水は避けてください。(散布した日に雨がかからないようにしてください。)
- 散布から定植までは、ベンレートTの使用は避けてください。
- 散布から定植までは、土壌表面が乾燥しない程度に灌水して下さい。
- 水田で育苗している場合、散布の日は苗箱が見える程度に水を落としてください。

※本品は食べる、飲むことはできませんので注意してください。

MAYEKAWA

農薬との併用について

株式会社前川製作所

薬剤名	種子浸漬	化学薬剤処理時期			本田
		培土混合処理	播種前後処理	移植前処理	
種子消毒剤	スポルタック	○			
	スターナ	○			
	スポルタックスターナ	○			
	ベンレート			○	
	ベンレートT			×	
	モミガードC	○			
	カスミン	○		○	
	タフブロック	○		○	
	エコホープ			○	
	ホーマイ	○			
	モミホープ	○			
	土壌消毒剤	ダコニール			○
ダコレート			○		
タチガレン			○	○	
タチガレエース				○	
箱処理剤	オリゼメート			○	○
	ブイゲット			○	○
	バリダシン			○	○
	嵐		○	○	
	ルーチン箱粒剤 フェルテラ箱粒剤			○	
その他殺菌剤	ブラシン				○
	モンカト				○
	ウイン				
殺虫剤	アドマイヤー			○	○
	プリンス		○	○	

イネファイター販売に関するQ&A集

改訂1：平成25年9月4日

	Q	A
エンドファイターについて	エンドファイターって何？	植物組織内に内生している生物の総称で、一般に糸状菌エンドファイターと細菌エンドファイターがあります。
	エンドファイターはどのような働きをするの？	エンドファイターは植物の細胞間隙に共生し特定の菌は病気や害虫に抵抗性を示すことが知られています。そのため、化学農薬の低減・収量の安定化・環境保全に寄与するものとして、様々な分野で研究が進められています。
	エンドファイターって毒性があるって聞いたんだけど？	従来より糸状菌エンドファイターの中にはアルカロイドという物質を生産し、ウシ・ヒツジ等に中毒症状を引き起こす家畜毒性あるものの存在が知られています。これに対して「イネファイター」に使用されているエンドファイターは細菌エンドファイターで、毒性の報告は無く、アルカロイドは生産せず、実用性が高いものとして注目されています。従いまして、稲わらは飼料へ利用することが可能です。
イネファイターについて	イネファイターって何？	イネファイターはイネに共生しているエンドファイターを分離し、アソスピリラムという菌を選抜し、培養したものです。
	イネファイターってどんな効果が期待できるの？	イネファイターはイネが本来もっている免疫機能を高め、イネの活着を良くし、元気なイネに育てることが期待できます。これにより米の増収も期待できます。
	何故稲の免疫機能が高まるの？	イネの中にイネファイターが入ることで、植物体内で誘導抵抗に関するスイッチが入ります。これは、誘導抵抗剤と同様に植物全身に防御のための信号が発信され、植物の全身で免疫機能が高まります。
	何故稲の分茎が促進されるの？	これまでの研究から、エンドファイターがイネの生長を促進する機能を持っていることが明らかになり、これが分茎を促進するものと考えております。
	イネファイターは有機栽培に使用できるの？	イネファイターには「通常版イネファイター」と「有機栽培用イネファイター」があります。有機栽培用イネファイターは有機JAS認定も取得しておりますので、有機栽培に使用される場合にはこちらをご使用ください。
	特別栽培米の場合のイネファイターの扱いは？	特別栽培にさいしてイネファイターは農薬・肥料のカウントに入りません。
	農薬や殺虫剤等との併用は可能？	基本的には、通常の箱剤、殺虫剤との併用は問題ありません。しかし、ベンレートTとの併用が難しいことが確認されております。
	実際の施用の方法は？	薄める分量はあくまでも目安であり、これよりも多いと薄すぎて種籾1個あたりの施用量が確保できないことが懸念されますが、これより少ない量で薄められることに関しては問題はありません。
	イネファイターは農薬？	農薬ではありません。
	イネファイターを誤飲しても大丈夫？	公益財団法人食品農医薬品安全性評価センターにて安全性については確認いただいておりますが、誤飲は避けていただきたいと考えております。保管の際には小さなお子様の手の届かない場所に保管してください。

植物共生細菌

エンドファイト普及へ

前川製作所(東京都江東区)は、エンドファイト(植物共生細菌)の開発と普及に力を入れている。稲用微生物資材の「イネファイター」は稲の免疫機能を高めるもので、北海道での圃場(ほじょう)試験で増収効果を確認。昨年、全国発売し、35道府県の745社に普及した。大豆用や野菜用も開発し、2年以内の商品化を目指している。

エンドファイトは、植物細胞の隙間に共生する微生物の総称で、病原菌は含ま

ない。同社は2000年から豆、タマネギなどで実証試験をしながら、稲では分けつがエンドファイトを探索し、コブノメを促進され、穂数が増えること

た。菌を濃縮した液体で、水で希釈し田植え2〜7日前に育苗箱の上からじょうろなどで散布する。美唄市での09年の栽培試験では、定植113日後の穂数が無処理区に対して10

た。JAびばいでは11年に54戸が263社、12年には56戸が344社で利用した。JAは「数社から10%弱の増収効果がある。昨年は10

水稲増収効果を確認

免疫機能高め病害虫抑制

イガやウンカ類の食害、いとから増収することが分かった。複数のエンドファイトの中から、稲の茎から採取したアズスピリラム属菌に絞

り、05年から北海道でJAびばいなどと協力し、稲、大ファイター」を試験販売し

た。この結果を踏まえ、11年から北海道で本格販売し

た。菌を濃縮した液体で、水で希釈し田植え2〜7日前に育苗箱の上からじょうろなどで散布する。美唄市での09年の栽培試験では、定植113日後の穂数が無処理区に対して10

た。JAびばいでは11年に54戸が263社、12年には56戸が344社で利用した。JAは「数社から10%弱の増収効果がある。昨年は10

た。この結果を踏まえ、11年から北海道で本格販売し



エンドファイトを商品化した「イネファイター」(前川製作所提供)

「イネファイター」本格販売

▽当りの600kgを超える玄米収量だった。穂もち、ドロオイムシ、カメムシなどで抑制効果があった」と説明する。大豆では、ハスモンヨトウに対する摂食を阻害するエンドファイトを選抜し、豆科植物から2菌株を分離した。同市での圃場試験では、無処理に比べ、7%増収した。アブラナ科とキク科作物に有用なエンドファイトも探索中で、10%以上増収する菌株をアブラナ科用で5菌株、キク科用で3菌株選抜した。東海地方のJAなどと協力し、圃場試験を進める。